

人吉球磨中体研

理事長 井上 達晃

1 はじめに

今年度の人吉球磨は、堤俊介会長（あさぎり中学校）を中心に12校18名の保健体育科担当で研究を進めてきた。本研究会では、次期学習指導要領への滑らかな移行や、そこから抽出して定めたテーマ「主体的・協働的・対話的な男女共習による学習展開の工夫」に沿った研究を進めようと計画していた。

2 研究組織

会長
堤 俊介 校長
(あさぎり)

副会長
湊田 康正 校長(湯前)
馬場 哲也 校長(五木)

理事長
井上 達晃
(湯前)

研究員（研究の組織）
陸上競技部会
犬童、久間、井上、一鬼、米良
球技「ゴール型」部会
田中、澤井、有村、中山
球技「ネット型」部会
澤村、吉村、武井、八ヶ代
武道部会
熊、久保田、岩崎、那須、中島

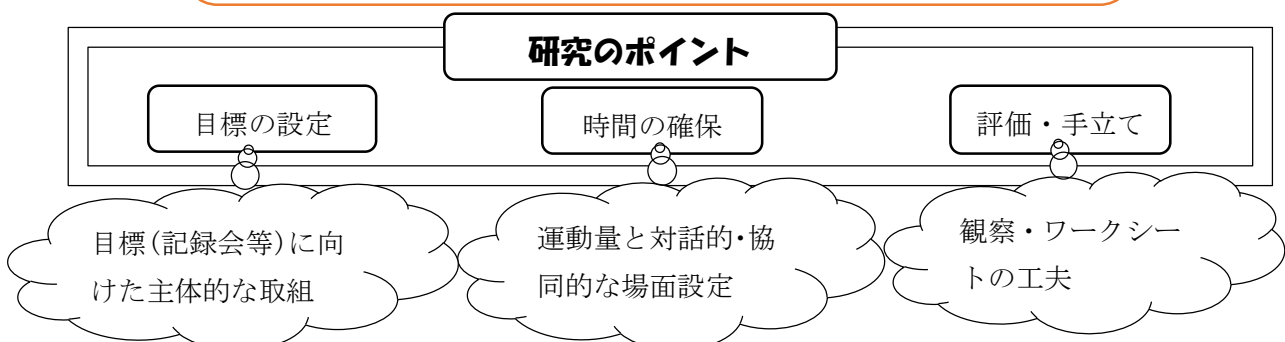
3 活動状況

	会議	期日	内容
1	第1回人吉球磨体育研究会 (中学部会)	6月1日 (月)	研究組織・研究テーマ 本年度の研究内容協議
2	第4回人吉球磨体育研究会 (小中合同)	11月20日 (金)	人吉市立人吉西小学校 「学校体育」研究発表会
3	第5回人吉球磨体育研究会 (中学部会)	1月19日 (火)	夏期研修会復講 実践報告・研究のまとめ

※第1回研究会及び第4回研究会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

4 研究テーマ

＜人吉球磨体育研究会（中学部会）研究テーマ＞
自ら運動の喜びや楽しさを求め、
生涯にわたり健やかな心と体をはぐくむ体育学習の在り方
～主体的・協働的・対話的な男女共習による学習展開の工夫～



5 研究の概要

(1) 4領域のグルーピングからの考察・実践

第1回の研修会で、本会のテーマを決定した後、研究員の人数を考慮して、抽出した4領域（陸上競技、球技「ゴール型」、球技「ネット型」、武道）に絞り、グルーピングした部会を設置した。さらに各グループで話し合い、その領域の単元を1つ選択し、年間を通じて教材研究を行うとともに指導案を作成し、互いの授業を参観して今後の授業改善に活かすことを計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により予定を変更し、学習構想案の指導計画作成を計画した。

(2) 小体研との授業研究会（人吉市立人吉西小学校「学校体育」研究発表会）

新型コロナウイルス感染症感染防止のため、研究発表会は中止となった。

(3) 学習構想案「指導計画」作成

本年度は、県中体研において学習構想案の「単元の目標及び単元の評価規準」を行った。それを受け、本郡市では各領域及び各運動の指導計画作成に着手した。各領域や各種目ごとに担当者を決定し、学年ごとに指導計画を作成した。来年度より完全移行となる新学習指導要領に沿った内容となっており、学習構想案作成だけでなく、普段の授業実践にも活用できるとても有意義な研究となった。作成したものは人吉球磨の体育担当者で共有し、研究をより深められればと思う。

※「指導計画」の作成例

学習構想案「1 単元の構想」の指導計画（学習活動）を、各領域又は各運動で作成した。
過程ごとの目標や、過程での学習活動、留意点などを書き込んだ。

指導計画と評価計画（10時間）		
過程	時間	学習活動（「問い」を設定しても可）
1	1	○オリエンテーション（学習内容の確認） ○スキルテスト （オーバーハンドパス、アンダーハンドパス） ○学習シートについて
2	2 本時 2/2	【ボール操作とチームメイトと連携した動きを身につけよう】 ○パスからセッターにパス ○サーブレシーブ ○チームメイトとの連携

6 まとめ

研究協議会や県中体研の発表などを参考に、各校で新学習指導要領完全実施に向けた取組が行われている。本研究においては、新型コロナウイルス感染症の影響により当初予定していた研究とはならなかったが、学習構想案の指導計画作成を本郡市の全研究員で取り組むことで、新学習指導要領完全実施に向け大変有意義なものとなった。学習構想案の作成だけでなく、普段の授業実践においても十分活用できるものができあがった。

次年度は、令和5年度に控えている学体研に向け年度内の組織作りを行い、新年度から早速研究に取り組めるよう準備をしていきたい。また、今後も小体研や高体研と連携した研修会を計画したいと考えている。